

# 巻 頭 言

平成19年は新病院建設着工の年



院長 小 熊 豊

昨年は医療法の改正と診療報酬の改定が行われ、医療費抑制の至上命令のもと、明確な根拠が全く示されないまま診療報酬が3.16%減額され(自然増分を加味すると5~6%に相当か)、療養病床の削減等が進められた。勤務医不足は一向に改善せず、勤務医の過酷な勤務状況は変わらないか、益々悪化している。一方、7:1看護体制の病院単位での施行により看護師の争奪合戦が起こり、全国的に看護師が極めて不足した状況になっている。自治体病院では定員は条例によって簡単には増やすことが出来ず、むしろ国の“骨太の方針”によって職員を5.7%減らすよう命じられているのであって(医師、看護師等の増員の必要性を認めながら、片方で削減を命ずるとは何と矛盾していることか)、全く対応がとれていない。一部の大都市の大病院を除く地方の病院では、こうした影響をもちに受け、経営的に実に苦しい立場に追い込まれており、療養型病院でも縮小、閉鎖の危機に瀕している。「勝ち組、負け組」、「生き残り」などと叫ばれて久しいが、厚労省の目指す質の高い、効率的で患者に分かりやすい医療の実現には、従来の医療制度の急激、かつ大幅な破壊と、新体制の再編、構築を伴っており、実に厳しいものだと感じざるを得ない。

昨年当院ではDPCの手挙げが思わぬことでつまずき、7:1看護もあと少しのところまで及ばず、医師の補充、増員もままならない非常に残念な一年でありました。しかし逆に一方では、オーダリングシステム、看護支援システムが順調に稼動し、新病院建設のための基本設計が終了、総務省から実施設計の許可がおりるなど、今年度に大きくstep upするための準備を終えたと考えることもできるように思います。また当院の初期臨床研修システムが比較的好評で、研修医が年々増え、今年度は14名が予定されていることも、研修管理委員会、指導医、ならびに関係各位の努力の賜物で、慢性的man power不足の中での輝かしい業績だと考えます。更に付け加えるならば、こうした研修システムと連動して救急診療体制が一層充実し、地域センター病院としての機能を一段と高めてきているように思います。平成19年はこうした基盤の上にたって、DPCへの手挙げ、7:1看護体制を実現し、より一層急性期医療の充実を図りたいと考えています。また今年度は実施設計を行い、市民会館、特別養護老人ホーム福寿園を解体後、いよいよ新病院の建築に着工することになります。将来を見越して遺漏のないように、あらゆることを綿密に打ち合わせして、素晴らしい病院を建設したいと考えています。職員皆さんの存分の活躍を期待しております。

また今年度は札幌コンベンションセンターを会場として、9月27、28日の両日にわたり全国自治体病院学会を開催することになっております。現在準備を着々と進めているところでありますが、こちらの方も併せて皆さんのご協力をお願い致します。

さてここに砂川市立病院医学雑誌第24巻が発刊されることとなりました。これは昨年1年間に経験した貴重な症例、業績の一端を発表したもので、当院職員の汗と努力の結晶であります。関係各位の日夜を分かたぬ努力にこの場を借りて感謝申し上げます。また編集委員の方々には、大変忙しい中を貴重な時間と労力を注いでいただき、このように立派に刊行できましたことを、心からお礼申し上げます。この雑誌が皆さんのこれからの日常の診療業務に、少しでもお役に立つことを念じております。

先日北海道医師会館で日本の医療を守る道民協議会が開催され、厚労省年金局 局長 渡邊 芳樹氏の講演を拝聴しました。彼は岩見沢出身で医療のことは専門外と言いつつも、大勢の開業医、医師会々員を前に、「限られた医療財源の中で、何を指すのか、何を我慢するのか、きちんと整理、決定する必要がある。こう言っただけだが、多くの勤務医が楽に稼げる開業医になっていく現状では、病院が崩壊する、ひいては日本の医療が崩壊することになる。日本の医療の特徴の1つはfree accessにあり、いつでもどこでも簡単に医師に診てもらえることにあるが、accessの良さばかりが広がっても病院機能が崩壊し、医療の質が落ちてても良いのだろうか。医療、なかでも病院に勤務する者の、生活の質をどう支えるべきなのか、そういった検討が必要なのではないか?」と、述べておられました。厚労省にも我々の主張が理解されつつあると、意を強くして帰ってきました。

以上様々なことを申しましたが、平成18年の皆さんの努力に感謝し、平成19年での大いなる活躍を期待して、砂病誌24巻の巻頭言とさせていただきます。

目 次

**巻 頭 言**

小熊 豊

**特 別 寄 稿**

Good luck !

高塚 紀子.....	1
「KOMIケア」導入までの経緯と今後の課題	
長谷川育子.....	3

**投 稿 論 文**

血漿交換で救命できた血栓性血小板減少性紫斑病の一例

長岡健太郎 渋江 寧 渡部 直己 廣海 弘光 日下 大隆 野村 昭嘉 吉田 行範 小熊 豊.....	6
---	---

経皮的pCO<sub>2</sub>モニター（商品名：センテックデジタルモニターシステム）が臨床的に有用であった  
重症肥満低換気症候群(Obesity Hypoventilation Syndrome: OHS)(Pickwick症候群)の一例

柏 隆史 渡部 直己.....	9
-----------------	---

Mirizzi症候群の一例

森田 智慶 吉田 行範 野村 昭嘉 新崎 人士 丹野 誠志 長岡健太郎 渋江 寧 廣海 弘光 渡部 直己 日下 大隆 小熊 豊.....	12
--	----

Cardiac Disturbance Syndromeの二例

清水 紀宏 佐々木 基 平林 高之 渋谷 雅之 菅井 衣代 伊藤 文博.....	15
---	----

当科における初発胸部食道癌に対する放射線化学療法の検討

松久 忠史 林 俊治 田口 宏一 湊 正意.....	19
----------------------------	----

特発性正常圧水頭症について

本間 敏美 高橋 明 柴田 和則 寺岡 政敏 内海久美子 館農 勝 小林 清樹.....	23
---	----

低用量シクロスポリンが奏功した爪乾癬の3例

加藤 潤史 高塚 紀子.....	25
------------------	----

目標管理を導入した結果から今後のキャリア開発の改善策を考える

伊藤ひろみ.....	27
------------	----

精神科疾患患者における褥瘡発生の実態とその対策

藤井 恵子 上野 浩司.....	34
------------------	----

K O M I理論を用いた妊娠中の看護手順

名尾 晴美.....	37
------------	----

化学療法を行う患者様へパンフレットを作成して

松村 美沙.....	41
------------	----

不安を軽減し意欲を支える看護

～人工股関節置換術を受けた患者様との関わりから～

稲垣 裕子.....	48
------------	----

高齢者の大腿骨頸部骨折患者が自宅退院できたケースを振り返って ～大腿骨頸部骨折手術後患者2事例を通して～	
佐々木智世佳    北川 裕子    渡辺 晶子    小川 有美.....	55
人工股関節・人工骨頭置換術を受ける患者様への生活指導	
佐々木智世佳.....	58
患者様の持てる力を支えた回復過程への援助	
渡辺 晶子.....	60
患者の回復過程を支える看護とは	
－9ヶ月間の闘病生活を振り返って－	
沼野 美幸.....	67
「ターミナルケアにおけるKOMIケアの有用性」	
三浦 香織.....	72
精神科におけるチェックシートを活用した服薬管理指導手順の実施を試みて	
小林 洋子.....	80
環境整備の視点から検討した保護室使用基準を用いた看護	
高岡 祐子.....	84
N I C Uにおける児と母の関わりへの援助	
堀田 一美.....	87
患者様の思いを丁寧に読み取ることを通して学んだこと	
池内 仁美.....	91
快の刺激による健康な力の活用と増進	
藤原 将希.....	97
化学療法の副作用による味覚変化の体験	
佐々木沙織    赤坂早知子.....	103
退院支援における家族へのアプローチ	
～終末期がん患者の在宅生活を支援した事例から～	
宮地 普子.....	107
腎機能障害におけるTTR（PA）、RBPの変動	
吉野 伸昭.....	114
低蛋白血症と浮腫を契機に発見された成人T細胞白血病性 リンパ腫（ATLL）の一例とその血液像	
安田亜希子    新崎 人士    横内 好之    岩木 宏之.....	117
APS-SAの性能評価	
足達 勇    白川 和樹    佐々木勇人    中鉢 純    三浦 良一 中島 孝治    柳瀬 雅裕.....	120
C P Cレポート	
1.～急性リンパ性白血病を疑った重症肺炎の一例～	
斉藤 仁志    岩木 宏之.....	124
2.Sorafenibが著効を示した進行性腎細胞癌の1例	
進藤 哲哉    柳瀬 雅裕    岩木 宏之.....	128
3.術後45年後に再発し死亡した甲状腺癌の一例	
長谷徹太郎    岩木 宏之.....	131

## 院内統計

中央手術室の年間集計報告（平成18年）	
山内 綾子.....	134
平成18年当院における時間外受診者状況及び救急車搬入、搬出状況	
村上 達哉    山川 和弘    梶浦 孝.....	140

最近5年間の砂川市立病院事業収支状況  
堀下 直樹 森田 一巳.....144

病院サービスに対する入院患者の意識調査のまとめ  
對馬 優子 後藤 千枝.....150

**カラーページ**.....161

**平成18年（2006年）学術・学会活動記録**  
掲載論文・学会・研究会発表..... 164

Good luck !	
<i>N.Takatsuka.</i> .....	1
A Future Strategy of “ KOMI CARE ”	
<i>I.Hasegawa.</i> .....	3
A case of thrombotic thrombocytopenic purpura well treated by plasma exchange	
<i>K.Nagaoka,Y.Shibue,N.Watanabe,H.Hiroumi,H.Kusaka,</i>	
<i>A.Nomura,Y.Yoshida,Y.Oguma.</i> .....	6
effectiveness of pCO2 monitor for Obesity Hypoventilation Syndrome: OHS (Pickwickian Syndrome)	
<i>T.Kashiwa,N.Watanabe.</i> .....	9
A case of Mirizzi syndrome	
<i>T.Morita,Y.Yoshida,A.Nomura,H.Shinzaki,M.Tanno,</i>	
<i>K.Nagaoka,Y.Shibue,H.Hiroumi,N.Watanabe,H.Kusaka,</i>	
<i>Y.Oguma.</i> .....	12
Two cases of cardiac disturbance syndrome	
<i>T.Shimizu,M.Sasaki,T.Hirabayashi,M.Shibuya,K.Sugai,</i>	
<i>F.Ito.</i> .....	15
Chemoradiotherapy for Squamous Cell Carcinoma of Esophagus	
<i>T.Matsuhisa,S.Hayashi,K.Taguchi,M.Minato.</i> .....	19
Idiopathic normal pressure hydrocephalus	
<i>T.Honma, A.Takahashi,K.Shibata,M.Teraoka,K.Utsumi,</i>	
<i>M.Tateno,S.Kobayashi.</i> .....	23
Three cases of psoriatic nails successfully treated with low dose ciclosporin	
<i>J.Kato,N.Takatsuka.</i> .....	25
Prospect for development of nursing talent from the result of a management by objectives	
<i>H.Ito.</i> .....	27
Prevalence and precaution of pressure ulcer in psychiatric patients	
<i>K.Fujii,H.Ueno.</i> .....	34
Nursing procedure for pregnant woman with a KOMI theory	
<i>H.Nao.</i> .....	37
A guide leaflet of chemo therapeutic outline for inpatients	
<i>M.Matsumura.</i> .....	41
Nursing care for the total hip arthroplasty patients	
<i>Y.Inagaki.</i> .....	48
Look back on the case which a thighbone cervix bone fracture patient of a senior citizen was able to be discharged from at home	
<i>C.Sasaki,Y.Kitagawa,A.Watanabe,Y.Ogawa</i> .....	55
The educational guidance for patients whom undergone total hip arthroplasty and endoprosthesis replacement	
<i>C.Sasaki.</i> .....	58
Support to the recovery process that supported power to be able to have of patient	
<i>A.Watanabe.</i> .....	60
Case report a Nurse Care aim at recovery from long - term hospitalization	
<i>M.Numano.</i> .....	67

Necessity of bias nursing according to KOMI chart system for a cancer patient <i>K. Miura.</i>	72
A trial implement Procedure of Compliance management guidance using a check sheet in a psychiatric ward <i>Y.Kobayashi.</i>	80
Nursing care following standard instruction for the use of seclusion room investigated from the view point of environment <i>Y.Takaoka.</i>	84
Our efforts to assist a healthy neonate-mother interrelationship in NICU <i>K.Hotta.</i>	87
Learning that was able to pass reading patients desire politely <i>H.Ikeuchi.</i>	91
The use and gain in human power to stay healthy by comfortable stimuli <i>M.Fujihara.</i>	97
Care to patient of the taste disorder that occurred in a side effect of chemotherapy <i>S.Sasaki,S.Akasaka.</i>	103
Approach to the family in the discharge from the hospital support - from the case that the at-home life of the final terminal cancer patient was supported- <i>H.Miyaji.</i>	107
Change of TTR(PA) and RBP in renal dysfunction <i>N.Yoshino.</i>	114
A Case report of ATLL (Adult T cell leukemia) with hypoproteinemia and its peripheral blood feature <i>A.Yasuda,H.Sinzaki,Y.Yokouchi,H.Iwaki.</i>	117
Evaluation for performance of APS-21SA <i>I.Adachi,K.Shirakawa,H.Sasaki,J.Cyuubachi,R.Miura, T.Nakajima,M.Yanase.</i>	120
<b>CPC REPORT</b>	
) Case report of a severe Pneumonia with atypical by lymphocytes peripheral <i>H.Saito, H.Iwaki.</i>	124
) Case report of Renal cell carcinoma treated with sorafenib <i>T.Shindo, M.Yanase, H.Iwaki.</i>	128
) Case report of thyroid cancer recurred for 45 years after surgery <i>T.Hase,H.Iwaki.</i>	131
Annual report of operation theater 2006 <i>A.Yamauchi.</i>	134
Statistics of outpatients in the emergency room of Sunagawa city medical center <i>T.Murakami,K.Yamakawa,T.Kajiura.</i>	140
Report of economic status in the Sunagawa City Medical Center for last 5 years <i>N.Horishita,K.Morita.</i>	144
Study of staff service for hospitalized patients and its summary <i>Y.Tushima,T.Gotou.</i>	150

砂川市立病院医学雑誌投稿規定  
( Journal of Sunagawa City Medical Center )

医学関係論文

- 1 本誌に掲載する論文は、砂川市立病院職員及び本誌に掲載を希望する関係者の投稿するものとする。
- 2 投稿論文は原著、症例報告、総説、診療研究、その他の研究活動からなり、他誌に未掲載のものとする。
- 3 掲載論文の採否及び掲載順位は編集委員会で決定する。
- 4 論文形式

a) 原稿の記述の順序は以下の通りとし、それぞれの番号のところで改頁する。

和文表紙:和文の表題、所属、著者名の順に記載する。

和文要旨:400字以内の要旨を記載する。

5語以内のKey Word s( 英語 )を記載する。

英文でタイトル、所属、著者名を記載する。

本文 { はじめに 材料と方法 結果 考案 }の順に記載

文献

図、表及び図・表説明

投稿総字数を表紙下部に手書きで明記

5 論文の書き方

a) 原稿は和文の場合、原著、総説8,000字以内とする。又フロッピー( 3.5インチ )MO/CDでの提出の際には以下の点に注意して下さい。

パソコン( Windows )の場合は、ワープロソフト( MS word )を使用することを希望します。それ以外のアプリケーションを使用するときはT E X T形式で本文を保存すること。

手書き・ワープロ原稿は受け付けません。

文字と改行だけで単純に棒打ちして下さい。

b) 英文では必ずパソコンを使用し、ワープロソフト( MSword )を使用するか、それ以外のアプリケーションを使用するときはT E X T形式で本文を保存すること。1行おき28行以内で枚数は和文と同様とする。人名、地名などの固有名詞はなるべく源字を用い、最初の1字のみ大文字とする。また普通名詞は全部小文字とする。必ずnative speakerの校正を受けてください。

c) 数字は算用数字を用い、度量衡は国際単位系( S I )で記載する。

d) 論文にて繰り返される語は略語を用いても差し支えないが、初出の時は完全な用語を用いることを明記する。

e) 図( 写真を含む )表は別紙とし、図1、図2、あるいは表1、表2のように番号を付け、挿入箇所を明記する。写真は原則として白黒とし、手札サイズで印画紙に焼き付けたものとする。又必ずデジタルデータで提出してください。カラー図・表を希望する方はカラーにて印刷し( 最低1440dpiの出力を有するプリンターを使用 )同時にデジタルデータ化してください。同時にカラー図掲載の希望を委員会までお知らせください。画像の目安としては 原寸で約300dpiの解像度相当で取り込み、JPEG形式で保存して下さい。

f) 論文本体、図( 写真を含む )及び表は1セットプリントし、提出して下さい。

g) 引用文献

文献は本文中において引用のつど番号( 1 ) 2 ) 3 )のように算用数字で をうち、末尾に引用順に一括する。

雑誌の場合 ~ 著者名 論文名 雑誌名 巻( 号 ):頁 発行年( 西暦 ) .

【著者1名】

1 ) 谷藤順士:皮膚疾患の臨床 臨床皮膚 12(4):745-752 ,1990 .

2 ) Hawkey CJ.:COX-2 inhibitors. Lancet. 353(9149):307-314,1999.

【著者2名以上】

1 ) 小林広幸 他:慢性関節リウマチ患者にみられた腸の潰瘍性病変 .胃と腸 26(9):1247-1256 ,1991 .

2 ) Stillman MJ. et al:Desmoplastic malignant melanoma. Int J Pathol. 24(5):28-35, 1989.

外国誌は、Index Medicusの略誌名

邦文誌は、「 醫學中央雑誌収載誌目録 ( 医学中央雑誌刊行会 )による略名を使用する。

単行本の場合 ~ 著者名 書名 版 頁 発行所 発行地 発行年 .

【単行本】

1 ) 小野江為則 電顕腫瘍病理学 第2版 .153-173 南山堂 東京 ,1986 .

2 ) Murphy GP :Advances in cancer research, 2nd ed. John Wiley and Sons, New York,1990.

【単行本の1章】

1 ) 川端 真 血管縫合の実際 浜野哲男他(編):脈管外科 医学書院 東京 ,1990 .

2 ) Heyes RB. et al: Histologic markers in primary and metastatic tumors of the liver.: Andreoli M, Monaco Feds. The tumor of the liver,140-150,Elsevier Science Publishers, New York,1989.

6. 別刷は20部無料で用意します。それ以上必要な方は投稿時に委員会まで、ご連絡ください。

業績について

学会活動録( 地方会、総会、その他研修会 = 院外での集会での発表 )は筆頭演者 演題 学術集會名 日時 場所 掲載論文は、著者全員 論文名 掲載雑誌名.巻:頁 頁、発表年 の順に記載し、編集委員会にフロッピー( 3.5インチ )/ C D / メール等での提出をすること。

投稿、編集などに関する問い合わせは下記とする。

〒073-0196

北海道砂川市西4条北2丁目1番1号

砂川市立病院 - 医学雑誌編集委員会 -

TEL(0125)54-2131(514)

## 編 集 後 記

この度、当医学雑誌の編集委員長として岩木宏之先生より柳瀬へとバトンタッチすることになりました。岩木先生6年間の編集ありがとうございました。今回ようやく出版にこぎつけることができましたが、編集に不馴れな事もあり発刊が遅れましたことをお詫び申し上げます。編集委員会では、今後査読制度を設けたほうが良いのでは？との意見もでしたが、本雑誌の使命としましては当院での各分野における様々な活動内容や仕事・研究の成果および業績を院内・院外に知ってもらうことと考えまして、しばらくは現在のまま広く原稿を集めることに致しましたので、今後も奮って投稿をお願いするところであります。なお編集委員会では、編集委員長の任期は3年間ということになりましたので、今後3年間どうぞよろしくお願い致します。

砂川市立病院医学雑誌編集委員会 編集委員長 柳 瀬 雅 裕

## 編 集 委 員 会

委員長	柳 瀬 雅 裕	
委員	岩 木 宏 之	田 口 宏 一
	伊 藤 ひろみ	後 藤 千 枝
	山 崎 君 江	新 崎 祐 馬
	大 屋 重 幸	中 村 友 一
	禎 島 利 奈	中 島 孝 治
	若 林 千 恵 美	坂 本 和 隆
	村 上 達 哉	小 俣 憲 治
	田 中 静 江	

砂川市立病院医学雑誌 第24巻 第1号

平成19年9月1日 印刷・発行

発行人 小 熊 豊

発行所 砂川市立病院  
北海道砂川市西4条北2丁目1番1号

印刷所 広小路印刷(株)  
北海道滝川市一の坂町西3丁目1-31